

衛生面に配慮した避難所等でのトイレそうじ方法

【準備品】

【装備】 接触感染・飛沫感染対策の徹底

- マスク（サージカルマスク）
- 作業着（レインスーツでもよい）
- ゴム手袋（二重で使用する際は、外側の手袋の裏地が布製がよい）
- 履物（室内トイレ用、屋外作業用 防水が好ましい）
- 泥落としマット



手袋

【衛生】

- ウェットティッシュ
- 手指消毒スプレー（二酸化塩素入りアルコール消毒剤等）
- 石鹸、ハンドソープ
- うがい薬



泥落としマット

【清掃用具】 容器に中身と使用個所を表記

- 扉開放用具（ドアストッパー・土嚢など）
- 水（清掃用、消毒液希釈用）
- バケツ（消毒水用、モップ洗い用）
- 噴霧用スプレー（消毒液充填）
- キッチン用塩素系漂白剤（もしくは、次亜塩素酸タブレット）
- ペーパータオル（新聞紙）
- ビニール袋（ごみ袋用、清掃用具持ち運び用）
- 消臭・浄化促進剤（仮設トイレ投入用）
- ホウキ・チリトリ
- モップ（床水拭き用、床乾拭き用、壁面用）
- 雑巾（多用途のため多めに用意）
- ブラシ（床用、便器用）
- トイレ用塩素系洗剤（仮設トイレには中性洗剤）
- クレンザー（もしくは、メラミンスポンジ）



水（ポリタンク）



消臭・浄化促進剤（例）



キッチン用塩素系漂白剤

【トイレ関連備品】

- トイレットペーパー（ビニール包装が望ましい）
- 消臭剤（トイレ室内設置）
- 掲示物（トイレマナー等）
- ペーパー分別ボックス/サニタリーボックス（段ボール製の場合は、床面からの水を防ぐための防護策が必要）
- 消毒マット（室内との靴の境界）
- 備品置き台
- 掲示物（マナーアップ、エチケット、ルール、思いやり等について）



掲示物（トイレ研究所ホームページよりダウンロード可能）

【そうじ手順】 仮設トイレの場合アミカケ部分も行います

原則：ホコリを立てない、清掃で感染源を広げない、自己で防衛する

各種装備品を着用する（自身の手指の傷などからの感染に注意）

消毒水と清掃用水（水道水）を用意する

消毒水（次亜塩素酸ナトリウム約0.1%）は、きれいなバケツに、キッチン用塩素系漂白剤を水 1ℓに対し、24ml（キャップ一杯）混ぜる。一部は、噴霧用スプレーに充填する（バケツやスプレーなどの使い分けが発生する道具は、用途を表に書き、色や形を分けることで間違いを防ぐ）

ドア・窓を開放し、風通しをよくする

室内の備品を取り出し、大きな汚物等があれば、ペーパータオルや新聞紙等で汚染面を広げないように拭きる。

仮設トイレは、便槽に消臭・浄化促進材を投入（水のない場合は、便蓋を棒などで押しあけて投入する）

拭き掃除と掃き掃除

空間の高い所から順に、敷居、壁面などを消毒水で濡らした雑巾などで拭き掃除をおこなう。（消毒水が汚れると効力が落ちるため、すすぎは清掃用水を使用する）

床面に土や砂がある場合、ほこりが立たないように注意をして掃き掃除をする。

濡らした雑巾・モップでトイレ全体の床を拭いた後、消毒水をスプレーで散布する。

（仮設トイレの床の凹凸部分は、ブラシを使用）

床が滑る恐れがある場合は、10分程度放置した後、乾いた雑巾やロールペーパーでカラ拭きする。

個室内清掃

消毒水に浸して絞った雑巾およびスプレーで消毒水を散布しながら、汚れの小さい順にタンク、壁面、フタ、便座、便器の外側の順で拭く。

便器の内側を清掃する

上水道が復旧していない場合で、詰まり以外の原因で便器に流れていない汚物がある際は、2～3Lの水をバケツで上から勢い良く流し込む。（特に和式）

室内の水洗トイレの場合、塩素系洗剤を便器の内側につけ、数分後に水で流す

水アカがひどい場合などは、クレンザーまたはメラミンスポンジを使用

仮設トイレの場合は、中性洗剤（便槽に投入した消臭剤が微生物系のものの場合、効力を損なわないため塩素系のは避ける）を使用して適度にこすり洗いをする

手で触れる部分を拭く

消毒水を散布しながら、これまでの手順で使用していない雑巾で、ドアノブ、手すり、水洗レバー、ペーパーホルダーを拭き、手洗い周りは水アカを拭きとる換気を十分に行う



消毒水・清掃用水



噴霧用スプレー



ほうき・ちりとり



モップ

道具の片付け

ゴミや清掃用具を持って移動する場合、衛生・安全のため、袋を二重にして管理する。
使用後の道具類で繰り返し使用する者は、分け洗いのうえ消毒する。(可能であれば温水で10分程度付け置く)

備品を設置・補充する

手袋をはずし(外側を内側になるように外す)、トイレットペーパー、消臭剤、ペーパー分別ボックスを設置する(ルールが既に構築されている場合、それに沿った運用ができるように配慮が必要)

掲示物は、使用時の目線に入るよう配置する。

作業着を脱ぐ

脱いだ作業儀は、保管用袋に入れる。

泥落としマット等で靴の泥を落とし、靴の裏に消毒液を吹きかける。

手洗い、手指の消毒、うがいを行う

石けんで手を洗う。(水がない場合は、ウェットタオルやアルコール消毒液等を使用。また、指先、指の間、親指の周り、手首等は汚れが残りやすいので注意する)

うがいをする。(うがい薬を使用)



トイレットペーパー、消臭剤



ハンドソープ

その他の対応策

汚染を広げないため、靴底消毒マット(泥落とし 消毒)を靴を脱ぐ前の場所に設置

その他、蓄光テープ、足元・室内明かりなどが配置できる場合は設置する。

使用者自身が汚れてしまっても清掃できるための道具として、簡易な清掃用具配置

仮設トイレで、水が十分になく足元の清掃が難しい場所の場合、新聞紙を敷く

仮設トイレ床を水平にするためには、木片のクサビをトイレ底面に打ち込めると有効

移動用の車内を汚染させないため、別途泥落としマットや消毒マットがあるとよい